

「まゆクラフト」

蚕のまゆを使ってオリジナルのストラップや指人形を作りましょう。

養蚕について学ぶきっかけにもなります。



対象	実施時期	定員	所要時間
小学生以上	通年	10～80人	1時間～1時間半
利用者持ち物	プラザ貸し出し備品	材料	
特になし	カラーペン・ボンド・ゴミ入れバケツ・はさみ・木ねじビット・竹串	繭×1・目玉×2・飾りひも・絹糸などを使った布	

ねらい

- ・想像力・表現力を高める。
 - ・普段触れる機会の少ない繭を使ってクラフトを楽しむ。
 - ・養蚕について知る。
- ※飯能ではかつて行っていた。秩父では今でも行っている所がある。

実施の流れ

打ち合わせ

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。

- ・使用場所について
- ・道具の準備、片づけ、点検について
- ・当所職員の指導（導入）の入り方について
- ・安全上の注意について

【ハサミの取扱について】

- ・団体指導者への刃物受渡時には本数を確認。
- ・左利きの人には左利き用ハサミを用意する。

【木ねじビットの取扱について】

- ・団体指導者への受渡時には本数を確認。
- ・穴をあける時は、木ねじビットは動かさず繭をゆっくり回すようにする。
→逆は手にケガをする恐れがあり危険。
- ・穴あけが終了したらケースに戻す。指導者は本数を数えて職員へ返却する。

◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、作業台（丸太イス）を準備していただきます。

※1 作業台につき、1～3 名程度

◆説明は当所職員が行います。

以降は、団体が中心となり進行してください

実施

- ① 道具・材料を配布する。(布は希望者のみ)
- ② 作るものが決まったら、はさみを使って加工する。
- ③ カラーペンで絵などを描く。
- ④ ストラップにしたい場合は、紐を通したいところに木ねじビットで穴を開け、竹串を使って紐を通し、抜けてしまわないように玉結び、もしくはボンドで固定する。
- ⑤ ボンドを使って組み立てる。

※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで、当所職員は本館事務室へ戻ります。何か不明点などあれば、本館事務室へお声がけください。

片付け

- ① 道具類は、所定の場所に戻す。
はさみ・木ねじビットの返却は数を確認の上、アルコール消毒して貸出同様にまとめて返す。
- ② 使用した作業台を元あった場所に戻す。
- ③ 下に落ちたゴミを掃き掃除する。ゴミは職員が用意したゴミ入れバケツにまとめる。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を職員が行いますので、本館事務室へお声がけください。

まとめ

- ・作品を披露し合う。
- ・ふりかえり

その他

- ・刃物類使い方・貸し借りの仕方は十分に気をつける。
- ・ボンドで固定されるまで5～10分程度掛るので、なるべく触らずに置いておく。

留意点

- ・はさみや木ねじビット、竹串で怪我をしないよう気を付けましょう。

SDGs への取組

- ・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。
- ・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切に作る気持ちを育めます。

